

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。

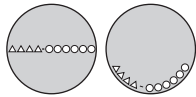
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。シチズンのホームページ(<http://citizen.jp/>)でも操作方法がご覧いただけます。また、モデルによっては、外装機能(計算尺、タキメーターなど)が搭載されている場合があります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も、同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。

この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4ケタが機種番号になります。例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例



時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために —必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、10、11ページを必ずお読みください。

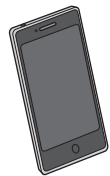
■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

この時計の特長



専用アプリでスマートフォンと接続

電話着信などの各種通知を時計に表示させます。また、スマートフォンの置き忘れ防止や見当たらないスマートフォンを探すのに役立つ機能もあります。専用アプリについては、お使いのスマートフォンのアプリサイトからダウンロードしてください。詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
<http://citizen.jp/support/guide/manual.html>



エコ・ドライブ(Eco-Drive)

光で充電するため、定期的な電池交換は必要ありません。



アラーム

専用アプリとの連携で、最大3つのアラーム設定が可能です。また、アラーム音の、音色、回数、音量を変更することもできます。



ワールドタイム

専用アプリとの連携で、スマートフォンと同じ時刻や、世界各地の時刻を手軽に表示させることができます。



パーペチュアルカレンダー

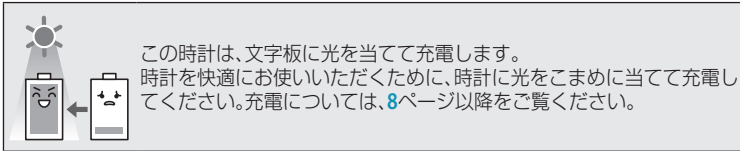
2100年2月28日まで月末やうるう年のカレンダー修正は不要です。

・「エコ・ドライブ」は、シチズン独自の技術です。

もくじ

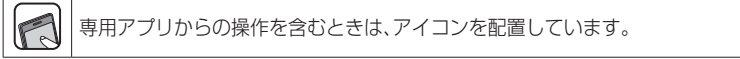
ご使用になる前に.....	2
専用アプリについて.....	2
バンド調整について.....	2
保護シールについて.....	2
特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた.....	2
各部の名称.....	2
接続してできること.....	2
専用アプリを操作して行うこと	2
時計を操作して行うこと.....	2
スマートフォンを接続する前に.....	3
接続できるスマートフォンについて.....	3
時刻受信について.....	3
スマートフォンをペアリング(登録)する.....	3
ペアリングを行う前に.....	3
ペアリングする	3
スマートフォンを接続/切断する.....	3
接続状態を確認する.....	3
接続を切断する.....	3
接続する.....	3
時計の通知表示について.....	4
通知表示を解除する.....	4
専用アプリの機能を使う	4
時計の充電量と発電量を確認する.....	4
時計の発電量の履歴を確認する.....	4
ワールドタイムを使う.....	5
時計の時刻をスマートフォンと同じにする.....	5
アラームを設定する.....	5
通知を設定する.....	6
接続時間を延長する.....	6
基準位置を確認・修正する(基準位置修正サポート).....	6
時計でスマートフォンを探す(スマートフォンサーチ).....	7
アラームを使う.....	7
時計をフライトモードにする.....	7
充電について.....	8
時刻・カレンダーを手動で合わせる.....	8
困ったときは.....	9
基準位置を確認・修正する.....	9
時計の状態と対処方法.....	9
Bluetoothについて.....	10
エコ・ドライブ取り扱い上の注意.....	10
防水性能について.....	10
お取り扱いにあたって.....	10
保証とアフターサービスについて.....	11
製品仕様.....	11
お問い合わせ窓口.....	11

ご使用になる前に



専用アプリについて

この時計は、専用アプリを使って、時計の機能を操作することができます。詳しくは、「**接続してできること**」をご覧ください。



バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。

バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

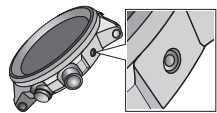
■ ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	りゅうずが飛び出すまで、左に回す	りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロックボタン	ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	ねじを右に回し、しっかり締める

■ 隠しボタン

ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

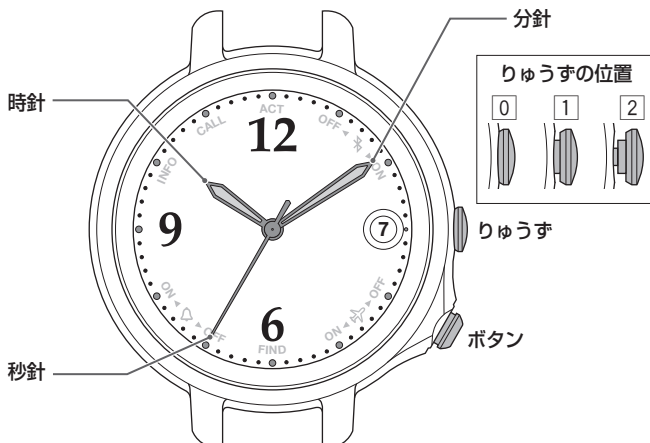


・金属製のもので押すとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

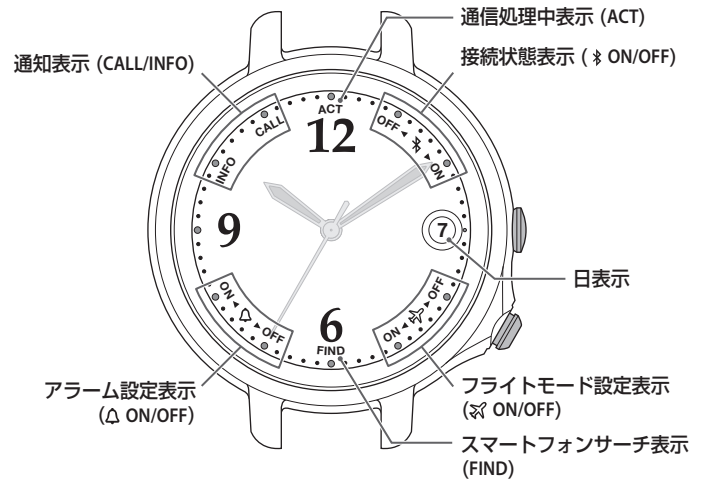
各部の名称

・お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。

針とボタン



表示



・ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

接続してできること

この時計は、専用アプリでスマートフォンと接続することができます。

専用アプリを操作して行うこと

充電量の確認	アプリ画面内に、接続中の時計の充電量が表示されます。切断しているときは、切断直前の充電量がうすく表示されます。	4
発電量の確認	時計の発電量の様子を、アプリ画面内で確認します。	4
時刻受信	スマートフォンから時刻・カレンダー情報を取得し、自動で時計の時刻・カレンダーを合わせます。	3 5
ワールドタイム	アプリ画面内の地図などを使用して、世界各地の時刻を時計に表示させます。	5
アラーム	最大3つのアラーム時刻の設定、オン/オフの設定、アラーム音の音色、回数、音量などを設定します。	5
通知	接続中のスマートフォンに電話着信やSNS/メール着信があったとき、時計に通知を送ることができます。時計に通知が届くと、秒針が[CALL](電話着信)や[INFO](SNS/メール着信)を指します。	4
通知の設定	時計に通知する際に通知対象を選んだり、通知音を加えることができます。	6
接続時間の延長	時計とスマートフォンの接続時間を、最大12時間まで、2時間単位で延長します。	6
時計の基準位置の確認・修正 (基準位置修正サポート)	時計の基準位置を確認・修正するときに、専用アプリがサポートします。	6

時計を操作して行うこと

ペアリング	時計とスマートフォンを初めて接続するときに行います。	3
切断/接続	ペアリング済みのスマートフォンと接続したり、接続を切断します。	3
通知の解除	通知表示中は、秒針が動きません。また、ボタン操作がうまくできない場合もあります。時計の操作で、通知表示を解除します。	4
アラーム設定のオン/オフの切り替え	専用アプリで設定したアラームを鳴らすどうかオン/オフを設定します。	7
スマートフォンを探す (スマートフォンサーチ)	ペアリング済みのスマートフォンが、室内などで見当たらないときに、スマートフォンを鳴らして探すことができます。	7
フライトモードの設定	飛行機の機内や病院内など、必要なときに時計の接続機能をオフにすることができます。	7

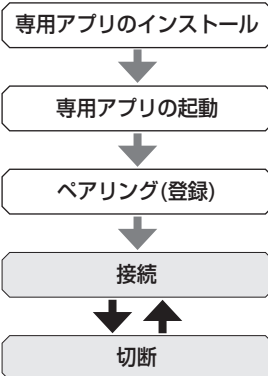
スマートフォンを接続する前に

この時計は、省電力通信技術 **Bluetooth Low Energy** を使用し、スマートフォンと接続します。

接続には、スマートフォンに専用アプリ「**CITIZEN Eco-Drive Bluetooth S**」をインストールし起動させ、ペアリング(登録)する必要があります。

接続までの流れは、次のようになります。

- * **Bluetooth**®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。
- * **Android**は、Google Inc.の登録商標です。
- * **iOS**は、Apple Inc.のOSの名称です。iOSは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。



接続できるスマートフォンについて

接続できるスマートフォン(Android OS 7.0以降/iOS 11.4-12.1に対応)や専用アプリについての情報は、次のサイトで確認できます。

<http://citizen.jp/support/guide/manual.html>

時刻受信について

この時計は、スマートフォンに接続するとともに時刻情報を取得し、自動で時刻・カレンダーを合わせることができます。

また、この時計は、一日に一度、時計の表示時刻の午前3時以降に光が当たると、切断中であっても、自動で一時的にスマートフォンに接続し、時刻・カレンダーを合わせます(自動時刻受信)。

- 自動時刻受信には、スマートフォンとのペアリングが必要です。
- 時計がパワーセーブ(8ページ)中のときは、解除後に自動時刻受信が始まります。
- 次の場合、自動時刻受信は働きません。
 - りゅうずの位置が0以外するとき
 - 時計の充電量レベルが「0」(充電警告)のとき

スマートフォンをペアリング(登録)する

- 時計とスマートフォンを接続するときは、まずペアリングを行います。
- 2回目以降のペアリングは、[Setting]画面の[ペアリング]から行います。

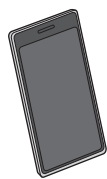
ペアリングを行う前に

- ペアリングを行うと、固有の情報(ペアリング情報)が時計とスマートフォンにそれぞれ保存されます。
- すでにペアリング情報が保存されている時計で、新たにペアリングを行うと、既存のペアリング情報は破棄され、新しいペアリング情報が保存されます。

ペアリングする

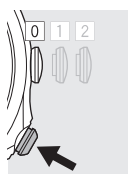
- ペアリングには、時計とスマートフォンの両方の操作が必要です。

スマートフォンの操作



- 1 アプリサイトから、専用アプリ「**CITIZEN Eco-Drive Bluetooth S**」をインストールする
- 2 専用アプリを起動する
 - アプリ画面は、ペアリングが完了するまで表示させたままにしておきます。
 - Bluetooth使用の許可を求めるダイアログが表示されたら、許可します。その他の許可については、画面にしたがって対応ください。
- 3 [時計と接続する]をタップし、[OK]をタップする
ペアリング画面が表示されます。

時計の操作



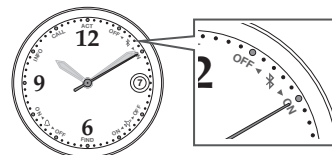
- 4 りゅうずの位置が0で、秒針が1秒ごとに動いていることを確認する
 - 秒針が動いていないときは、ボタンを1秒間押し続けます。
- 5 ボタンを4秒間以上押し続ける
 - 秒針が一度「ACT」(0秒位置)を指し、左右に振れた後にもう一度「ACT」を指したら、ボタンを離します。
ペアリングが始まります。

スマートフォン

- ペアリングが完了すると、「connected」(接続済み)と表示されます。
- ペアリング完了までに、およそ20~30秒かかる場合があります。

ペアリングに成功すると

時計の秒針が接続状態の「ON」(10秒位置)を一時的に指し、秒表示に戻ります。



秒針が接続状態の「OFF」(5秒位置)を指すときは、ペアリングをやり直す必要があります。

- ペアリングをやり直すときは、時計のボタンを1秒間押し続け、接続状態の「OFF」表示を解除します。

スマートフォンを接続/切断する

接続状態を確認する



1 りゅうずの位置を0にする

2 ボタンを押す

秒針が、現在の接続状態(ON/OFF)を表示します。

ON		接続中
OFF		接続は切断されています。

- 10秒間経過すると、秒針は自動で秒表示に戻ります。ボタンを押すと、すぐに秒の表示に戻ります。
- 秒針が接続状態を表示している間も、時計は正しい時刻・カレンダーを保ちます。

接続状態の表示について

時計とスマートフォンの接続状態に変化があると、秒針は自動で接続状態(ON/OFF)の表示に切り替わります。

接続を切断する

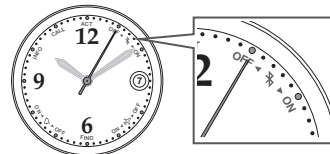
- 秒針が、通知表示の「CALL」(55秒位置)や「INFO」(50秒位置)を指しているときは、あらかじめ解除しておきます(4ページ)。



1 接続中に、りゅうずの位置を0にする

2 ボタンを2秒間押し続ける

- 秒針が「ON」(10秒位置)を指した後、「ACT」(0秒位置)を指したら、ボタンを離します。
接続が切断され、秒針が接続状態の「OFF」(5秒位置)を指します。



接続する

切断したスマートフォンに再度接続します。

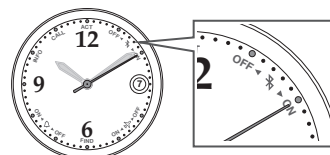
- ペアリング前のスマートフォンは、接続できません。



1 切断中に、りゅうずの位置を0にする

2 ボタンを2秒間押し続ける

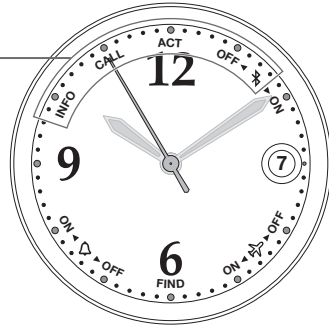
- 秒針が「OFF」(5秒位置)を指した後、「ACT」(0秒位置)を指したら、ボタンを離します。
時計とスマートフォンが接続され、秒針が接続状態の「ON」(10秒位置)を指します。



時計の通知表示について

通知を受け取ると、秒針が、対応する通知表示を指します。

秒針による通知表示		
表示	秒針の位置	通知の種類
CALL	55秒	電話着信通知
INFO	50秒	各種通知
※ OFF	5秒	切断通知(LINK LOSS) (接続状態と兼用)
ACT	0秒	時刻受信または接続 プロセスの進行中 (Activation)



- 秒針の通知表示は、りょうずの位置が④のときのみ行われます。通知表示ができない場合に通知を受け取ったときは、通知表示ができるようになるまで、通知表示は保留されます。
- 通知表示中に新しい通知を受け取ると、表示中の通知は解除され、新しい通知表示を行います。
- 秒針が通知を表示している間も、時計は正しい時刻・カレンダーを保ちます。

通知音について

アプリの[Notification](通知)画面で、通知音の、音色、回数、音量を設定することができます。

- 秒針が通知表示を行えないときにも、通知音は鳴ります。
- 保留されていた通知表示が行われるとき、秒針による通知表示に併せて、通知音が再度鳴ります。
- 通知音は、設定の際に事前に確認することができます。詳しくは、「アラーム音の設定画面」を参照ください。

通知を受け取る範囲について

時計とスマートフォンの接続可能な範囲は、最大でおよそ10 mです。壁などの障害物があると、より狭くなる場合があります。また、時計を腕など体で遮らないようにしてください。

通知表示を解除する

通知表示のうち「CALL」、「INFO」、「※ OFF」(切断通知、LINK LOSS)については、時計を操作して解除されるまで、秒針が秒表示に戻りません。

操作によっては、事前に通知表示を解除する必要があります。

- 解除した通知表示を再度表示させることはできません。



- 1 通知表示中に、ボタンを1秒間押し続ける
通知表示が解除され、秒針が秒表示に戻ります。
• りょうずの位置を変更しても、通知表示は解除されます。

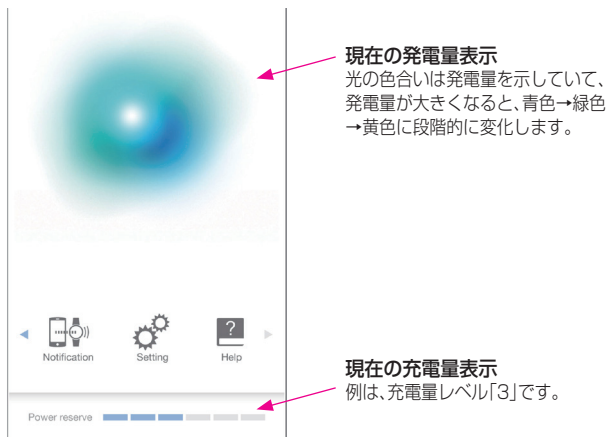
専用アプリの機能を使う

- 以下の説明で使用されるアプリの画面や文言は、機能向上のため変更される場合があります。

時計の充電量と発電量を確認する

時計とスマートフォンの接続中は、専用アプリのホーム画面下部に、時計の現在の充電量([Power reserve])が7段階表示されます。

また、画面中央には、現在の発電量が、光の模様として表示されます。



- アプリ画面に、充電量が表示されていないときは、画面左上の[Back](戻る)または[Cancel](キャンセル)をタップして、ホーム画面を表示させます。

充電量のレベル表示

レベル	表示	持続時間(およそ)		表示の意味
		接続機能を使うとき	使わないとき	
6	■■■■■■■■	13ヵ月~12ヵ月	2年~1年6ヵ月	十分充電されています。
5	■■■■■■■			
4	■■■■■■			
3	■■■■■	12ヵ月~11ヵ月	1年6ヵ月~14ヵ月	やや充電不足です。
2	■■■■	11ヵ月~10ヵ月	14ヵ月~10ヵ月	すぐ充電してください。
1	■■■	10ヵ月(時刻受信のみ)	10ヵ月~3日	
0	■■■■■■	接続できません	3日	レベル0は、切断中のため、表示されません。 • レベル0になると、時計の秒針が、2秒ごとに動くようになります([充電不足になると(充電警告機能)])。
		レベル0は、切断中のため、表示されません。 • レベル0になると、時計の秒針が、2秒ごとに動くようになります([充電不足になると(充電警告機能)])。		

- 持続時間の「接続機能を使うとき」の使用条件など詳細は、「製品仕様」の「スマートフォンの通常使用」の表をご覧ください。
- 接続中に充電量レベルが「1」になった場合は、切断されます。ただし、時計機能は使用できます。
- 充電量レベルが「1」のとき接続しようとする、秒針が「※ ON」を指した直後に「※ OFF」を指し、接続できません。ただし、時刻情報の取得は可能です。
- 充電警告機能が働いているときは、時計機能の一部も操作できなくなります。
- 切断中は、切断直前の充電量が、薄くレベル表示されます。

時計の発電量の履歴を確認する

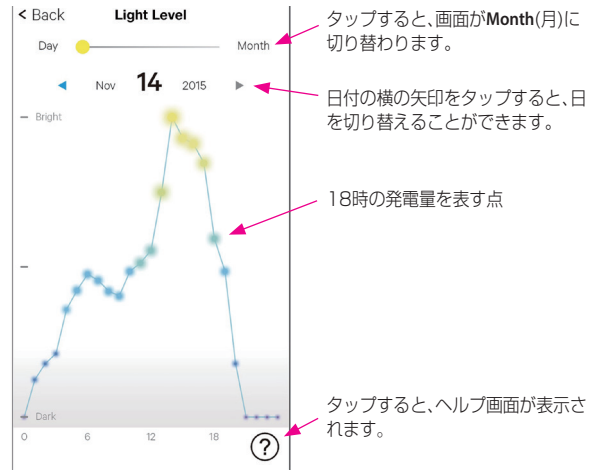
ホーム画面の[Light Level](ライトレベル)アイコンをタップすると、[Light Level]画面に切り替わります。

[Light Level]画面では、時計の発電量の履歴をグラフ形式で見ることができます。履歴には、[Day](日)と[Month](月)の2種類があります。

- 発電量のデータは専用アプリ内に保存されます。
- 発電量のデータが保存される期間はスマートフォンの空き容量によって変わります。
- 専用アプリを削除すると過去の発電量のデータも削除されます。

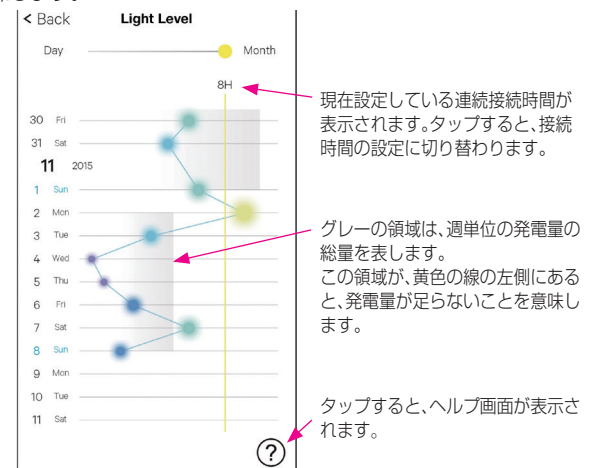
[Day](日)の発電量表示

1日の発電量が1時間ごとの点で示されます。点が上にあるほど、発電量が大きいことを意味します。



[Month](月)の発電量表示

1日ごとの時計の発電量が点で示されます。点が右にあるほど、発電量が大きいことを意味します。



ワールドタイムを使う

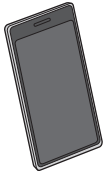
ホーム画面の[World Time](ワールドタイム)アイコンをタップすると、[World Time]画面に切り替わります。

[World Time]画面では、時計に表示させる時刻・カレンダーを設定します。

- スマートフォンの時刻と同じ時刻を時計に設定するときも、この画面で行います。
- [World Time]画面で表示される時差は、UTC(協定世界時)を基準にしています。時差が+9時間のときは、「UTC+09:00」と表示されます。



時計の時刻をスマートフォンと同じにする



1 時計とスマートフォンを接続する

- アプリの設定は、切断中でも変更できます。

2 ホーム画面の[World Time](ワールドタイム)アイコンをタップする

[World Time]画面に切り替わります。

- ホーム画面が表示されていないときは、画面左上の[Back](戻る)または[Cancel](キャンセル)をタップして、ホーム画面を表示させます。

3 [World Time]画面左下のスマートフォンアイコンをタップする

スマートフォンアイコンが青色に変わり、画面上部の時刻の左に[Smart Phone Time](スマートフォンの時刻)と表示されます。



4 画面右上の[Save]が青色になっているのを確認して、タップする

設定内容が時計に送信され、時計の表示時刻が変更されます。

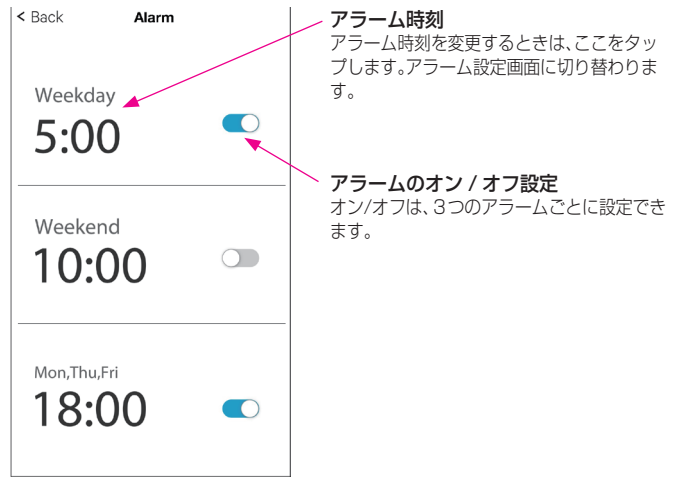
- 切断中の場合は、次回接続時に設定内容が時計に送信されません。

アラームを設定する

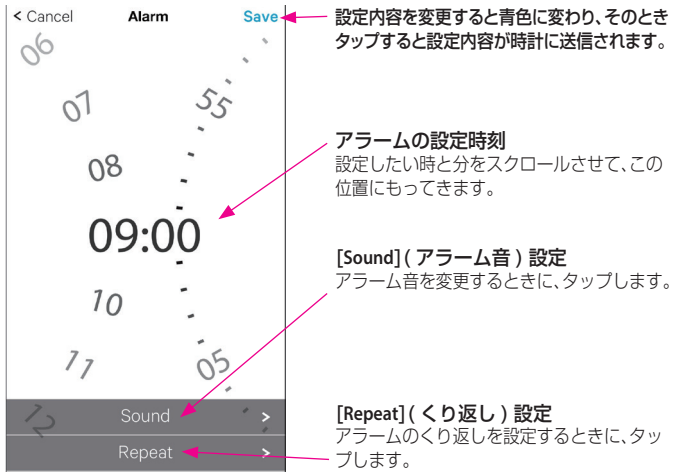
ホーム画面の[Alarm](アラーム)アイコンをタップすると、[Alarm]画面に切り替わります。

[Alarm]画面では、最大3つのアラーム時刻を設定できます。また、アラームのオン/オフ設定、アラーム音の音色、回数、音量を設定することができます。

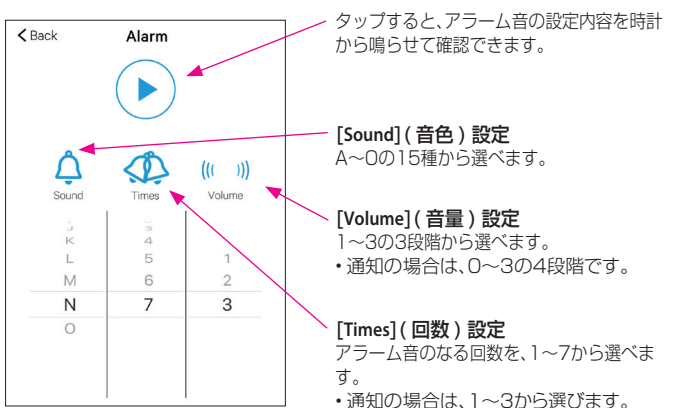
- アラームは、時計の表示時刻に基づいて鳴ります。
- [Alarm]画面は、時計との接続中のみ表示されます。



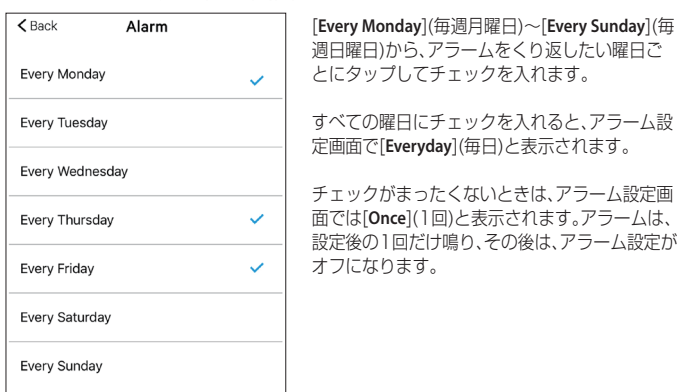
アラーム設定画面



アラーム音の設定画面



アラームのくり返し設定画面

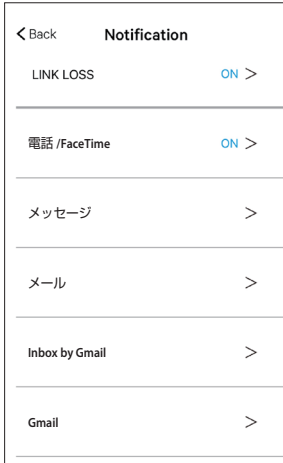


通知を設定する

ホーム画面の[Notification](通知)アイコンをタップすると、[Notification]画面に切り替わります。

[Notification]画面では、時計との切断時の通知や、様々なアプリからの着信通知の有無を管理・設定することができます。

• 通知設定は、専用アプリの設定なので、時計との接続が切断されているときでも行うことができます。ただし、通知音の確認は、接続中のみ可能です。

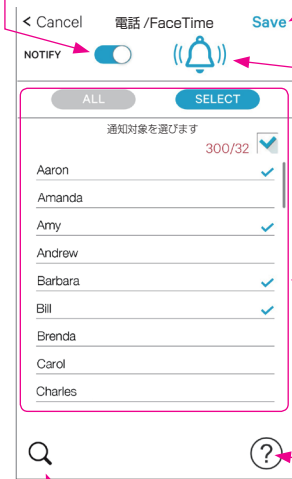


通知を行うには、各項目をタップして、それぞれの詳細設定画面で通知をオンにする必要があります。この画面では、「LINK LOSS」「電話/FaceTime」の通知がオンになっています。

- * Android, Gmail, Hangout, Inbox by Gmail は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- * Facebookは、Facebook Inc.の登録商標です。
- * FaceTimeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- * iOS は、Apple Inc. の OS の名称です。IOS は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- * 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

通知の詳細設定画面

通知をするかどうかを設定します。



設定内容を変更すると青色に変わり、そのときタップすると設定が保存されます。切断中の場合は、次回接続時に設定内容が時計に送信されます。

タップすると、通知音の設定画面に切り替わります。通知音の音色、回数、音量を設定できます。音量「0」を選ぶと、秒針による通知表示のみに行うことができます。

[ALL](すべて)をタップすると、すべての着信が通知対象になります。リストは表示されません。[SELECT](選択)をタップすると、下にリストが表示され、通知する人を選ぶことができます。項目によってはこの設定はありません。

タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

表示されたリストを検索するときタップします。

接続時間を延長する

時計とスマートフォンの接続時間を設定します。設定した接続時間に達すると、自動で切断されます。

接続時間を延長するときは、時計とスマートフォンの充電量にご注意ください。特に、時計については、発電量を確認の上([Month](月)の発電量表示)、充電と接続時間を適切に保つよう心がけてください。

• 初期の設定は、4時間です。

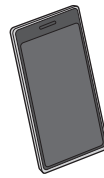
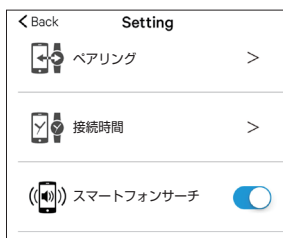
1 ホーム画面の[Setting](設定)アイコンをタップする

[Setting]画面に切り替わります。

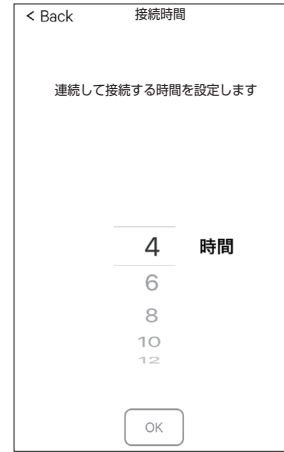
• ホーム画面が表示されていないときは、画面左上の[Back](戻る)または[Cancel](キャンセル)をタップして、ホーム画面を表示させます。

2 [接続時間]をタップする

現在の接続時間の設定が表示されます。



3 接続時間を選ぶ



• 接続時間は、4~12時間まで、2時間単位で選ぶことができます。

4 [OK]をタップする

基準位置を確認・修正する(基準位置修正サポート)

アプリを使って、時計の基準位置を確認・修正します。

時計を見ながら、アプリ画面上の指示にしたがって、操作を進めます。

• 基準位置の確認・修正は、時計のみで行うこともできます(9ページ)。

1 時計とスマートフォンを接続する

2 ホーム画面の[Help](ヘルプ)アイコンをタップする

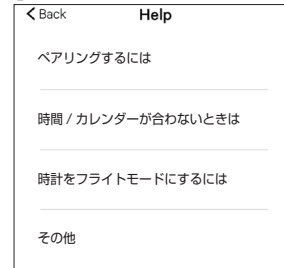
[Help]画面に切り替わります。

• ホーム画面が表示されていないときは、画面左上の[Back](戻る)または[Cancel](キャンセル)をタップして、ホーム画面を表示させます。

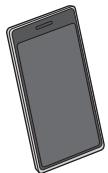
3 [困ったときは]をタップする



4 [時刻/カレンダーが合わないときは]をタップする



以下、画面の指示にしたがって進めます。



時計でスマートフォンを探す (スマートフォンサーチ)

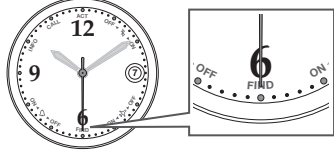
ペアリング済みのスマートフォンが、接続範囲内にあるときに、スマートフォンを鳴らして、どこに置いてあるか確かめることができます。

- 専用アプリの設定をあらかじめオンしておく必要があります。
- この機能は、接続中でなくても使用できます。



1 りゅうずの位置を②にする

秒針が「FIND」(30秒位置)を指し、スマートフォンが鳴り始めます。



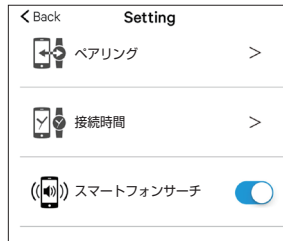
- スマートフォンで止めるまで音は鳴り続けます。途中でやめるときは、手順③に進みます。

2 スマートフォンの画面にしたがって、音を止める

3 りゅうずの位置を①にする

■ スマートフォンサーチの設定を確認する

専用アプリの[Setting](設定)画面で、[スマートフォンサーチ]をオンにします。



アラームを使う

時計で、アラーム設定のオン/オフを一齐に切り替えます。

- アラーム時刻の設定や、アラーム音の設定は、専用アプリから行います。時計からは設定できません。
- りゅうずの位置が①以外のときは、アラームは鳴りません。

時計からの操作でアラーム設定のオン/オフ設定を切り替えるには、あらかじめ専用アプリで、アラーム設定をオンしておく必要があります。

- 専用アプリでオフにしたアラーム設定を、時計からオンに切り替えることはできません。ご注意ください。

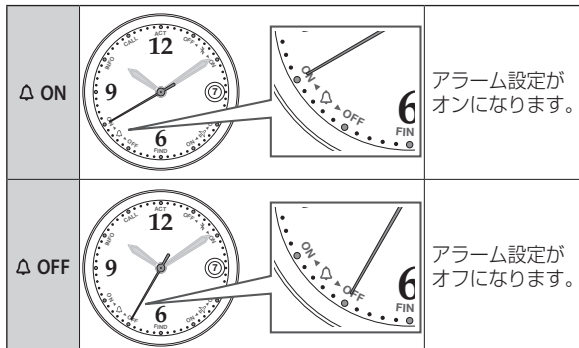


1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、アラーム設定(Δ ON/OFF)を指します。

2 ボタンを押して、アラーム設定のオン/オフを切り替える

- ボタンを押すごとに、アラーム設定のオン/オフが切り替わります。



3 りゅうずの位置を①にして終了する

通常の表示に戻ります。

■ 設定時刻になると

アラーム設定がオンのとき、時計の表示時刻がアラーム設定時刻になると、秒針が停止し、アラームが鳴ります。

アラームが鳴り終わると、通常表示に戻ります。

■ アラーム音を止めるときは

ボタンを押します。

時計をフライトモードにする

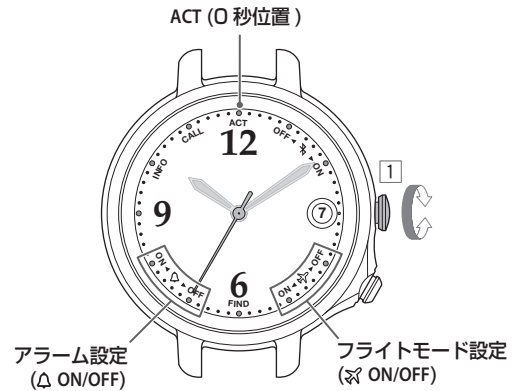
飛行機の機内や病院内など、必要なときに時計の接続機能をオフにすることができます。



1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、アラーム設定(Δ ON/OFF)を指します。

2 りゅうずを回して、秒針がフライトモード設定(✂ ON/OFF)を指すようにする



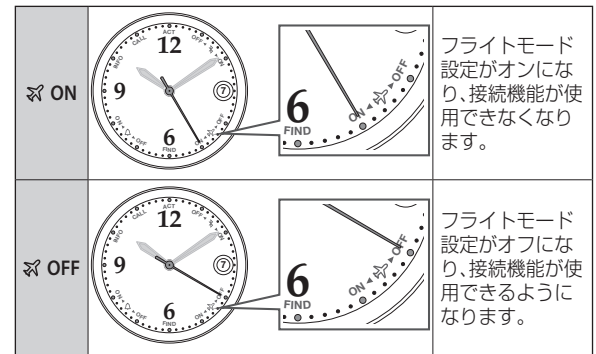
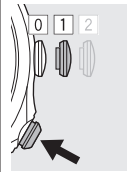
- りゅうずを回すごとに、秒針は次のように指します。

アラーム設定(Δ ON/OFF) → ACT →

フライトモード設定(✂ ON/OFF) → (始めに戻る)

3 ボタンを押して、フライトモード設定のオン/オフを切り替える

- ボタンを押すごとに、フライトモード設定のオン/オフが切り替わります。



4 りゅうずの位置を①にして終了する

通常の表示に戻ります。

■ フライトモード設定をオンにすると

スマートフォンとの接続は、切断され、接続できなくなります。

- 接続しようすると、秒針が「✂ ON」(25秒位置)を指し、通常表示に戻ります。
- 自動時刻受信もできなくなります。

■ フライトモード設定をオフにした後は

フライトモード設定をオフにすると、時計の接続機能が使用できるようになります。

スマートフォンと接続が必要なときは、接続操作が必要です。

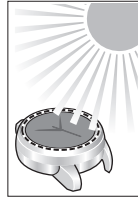
- 時計の時刻とカレンダーを確認し、必要があれば、時刻・カレンダーを合わせてください。

充電について

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光が当たると行われます。

次のような充電を心がけると、時計を快適にご使用いただけます。

- 時計を使用しないときでも、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く
- 週に一度は時計の文字板を太陽に向けて、5～6時間直射日光に当てる
- 光の当たらない場所で長期保管をしない



注意

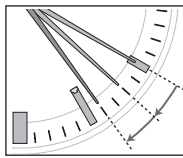
- 故障の原因となりますので高温下(約60°C以上)での充電はおやめください。
- 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。

- 充電完了後、時計は自動で充電を停止します(過充電防止機能)。充電のしすぎによって、時計や二次電池の性能が損なわれることはありません。

充電不足になると(充電警告機能)

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます(2秒運針)。すみやかに文字板に光を当てて充電してください。

- 充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります(通常運針)。
- 2秒運針が3日間以上続くと、充電不足で時計が停止します。



■ 充電警告中(2秒運針中)は

時刻・カレンダーは正しく表示されます。

環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	屋外(晴天)	屋外(曇天)	30W蛍光灯の20cm下	屋内照明
明るさ (lx、ルクス)	100,000	10,000	3,000	500
通常に動く状態を1日保つ	3分	25分	1.5時間	7時間
時計が停止してから通常に動き出すまで	40分	2.5時間	9時間	45時間
時計が停止してから通知などの各種機能が使用できるようにするまで	4.5時間	40時間	130時間	—
時計が停止してから充電完了まで	7.5時間	60時間	—	—

- 直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが足りません。

■ 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで

スマートフォンを使用する	スマートフォンを使用しない
約1年*	約2年6ヵ月

*「スマートフォンを使用する」の使用条件など詳細は、「製品仕様」の「スマートフォンの通常使用」の表をご覧ください。

スマートフォン接続時の注意

- スマートフォンを1日に長時間接続したままでいたり、1日に何度も通知を受けたり、アラームを鳴らすと、多くの電力が消費されます。スマートフォンを長時間接続して時計をお使いのときは、時計を充電するよう心がけてください。
- スマートフォンを使用しないときは、切断(3ページ)してください。
- スマートフォンの充電量にも配慮ください。

パワーセーブ機能

長時間文字板に光が当たらない状態が続くと、節電のため、午前0時ちょうどに秒針と分針を自動で停止させる機能です。

- パワーセーブ中も、時計は正しく動作しています。
- パワーセーブ中は、自動時刻受信は行われません。
- りゅうずの位置が②以外のときは、パワーセーブ機能は動きません。

■ パワーセーブを解除するには

文字板に光が当たって発電が始まると、パワーセーブは解除され、通常の表示に戻ります。

- 長期間パワーセーブ機能が働いていた場合は、時計の時刻・カレンダーを確認し、必要があれば、時刻・カレンダーを合わせてください。

時刻・カレンダーを手動で合わせる



1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、アラーム設定(Δ ON/OFF)を指します。

2 りゅうずを回して、秒針が「ACT」(0秒位置)を指すようにする

• りゅうずを回すことに、秒針は次のように指します。

アラーム設定(Δ ON/OFF) → ACT →

フライトモード設定(✕ ON/OFF) → (始めに戻る)



3 ボタンを2秒間以上押し続ける

• 秒針が左右に振れて、再び「ACT」(0秒位置)を指したら、ボタンを離します。

4 ボタンを押して、合わせる対象を切り替える

• ボタンを押すことに、合わせる対象が次のように切り替わります。

分 → 時/日 → 年/月 → (始めに戻る)

• 針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。



5 りゅうずを回して、針/表示を合わせる

• 分針/秒針、時針/日表示はそれぞれ連動します。

• 日表示が切り替わるときが、午前です。午前/午後を間違わないよう注意します。

• 時刻と日表示は、りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

• 年と月は、「年と月の表示について」を参照して合わせます。

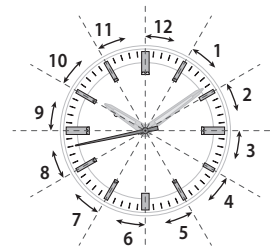
6 手順4と5をくり返す

7 時報に合わせて、りゅうずの位置を②にして終了する

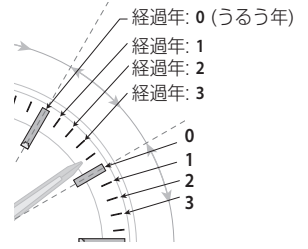
■ 年と月の表示について

年と月は、秒針の位置で設定します。

「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。各数字が月に対応します。



「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。



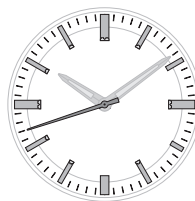
年		経過年	秒針の位置			
2016	2020	2024	2028	2032	0 (うるう年)	月の表示範囲の最初の目盛り
2017	2021	2025	2029	2033	1	1目盛り目
2018	2022	2026	2030	2034	2	2目盛り目
2019	2023	2027	2031	2035	3	3目盛り目

- うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧ください。

<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>

例: 2018年8月を設定するときの秒針の位置

2018年は、表より経過年が「2」なので、秒針は、8月の範囲の「2目盛り目」を指すことがわかります。



困ったときは

基準位置を確認・修正する

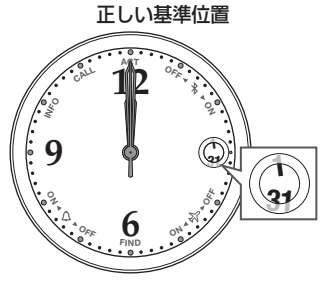
時刻情報を適切に受信しても時刻・カレンダーが正しく表示されないなどの場合、基準位置が正しいかどうか確認します。

・各表示が正しい基準位置からずれていると、時刻情報を受信しても、時刻・カレンダーが正しく表示されません。

基準位置とは

時刻・カレンダーを表示するために基準として、各針/表示の位置のことです。

- ・時針/分針/秒針の位置: 0時00分0秒
- ・日表示の位置: 「31」と「1」の間



1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、アラーム設定(△ ON/OFF)を指します。

2 りゅうずを回して、秒針がフライトモード設定(≡ ON/OFF)を指すようにする

- ・りゅうずを回すごとに、秒針は次のように指します。
アラーム設定(△ ON/OFF) → ACT →
フライトモード設定(≡ ON/OFF) → (始めに戻る)

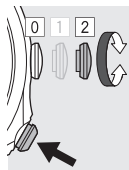


3 ボタンを5秒間押し続ける

- 各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。
- ・秒が動き出したら、ボタンを離します。

4 上の図を参考に、基準位置を確認する

正しい	基準位置を修正しないで、手順9に進みます。
ずれている	手順5に進み、基準位置を修正します。



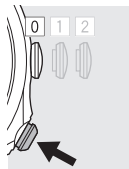
5 りゅうずの位置を②にする

6 ボタンをくり返し押し、修正する針/表示を選ぶ

- ・ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
時針/日表示 → 分針/秒針 → (始めに戻る)
- ・針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。

7 りゅうずを回して、針/表示を修正する

- ・分針/秒針、時針/日表示はそれぞれ運動します。
- ・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。



8 手順6と7をくり返す

9 りゅうずの位置を③にする

時計は、基準位置を表示したままです。

10 ボタンを押して、終了する

- ・ボタンを押さなくても、2分間経過すると、通常表示に戻ります。

時計の状態と対処方法

時計の状態	対処方法	詳細ページ
スマートフォンとの接続		
接続できない	時計のりゅうずの位置を確認する。	—
	充電量を確認する。	4
	時計のフライトモード設定を確認する。	7
	通知表示を解除する。	4
	専用アプリを起動する。	—
	スマートフォンのBluetooth設定を確認する。	—
	電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	—
	スマートフォンのペアリング情報(Eco-Drive W410)を削除し、アプリの[Setting]画面の[ペアリング]でペアリングをやり直す。	—
ペアリングできない	スマートフォンのペアリング情報(Eco-Drive W410)を削除し、アプリの[Setting]画面の[ペアリング]でペアリングをやり直す。	—
	時計を充電する。	8

時計の状態	対処方法	詳細ページ
スマートフォンとの接続(つづき)		
アイコンが薄く、開かないアプリ画面がある	スマートフォンと接続する。	—
接続可能な距離内で、通知されない	接続状態(※ ON/OFF)を確認する。	3
	時計の充電量を確認する。	4
	専用アプリを起動する。	—
	専用アプリの通知設定を確認する。	6
時計でアラーム設定をオンにできない	電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	—
	アプリでアラーム設定をオンにする。	7
通知音が鳴らない	専用アプリの通知音(アラーム音)の設定を確認する。	5
接続が切れる	時計の充電量を確認する。	4
	専用アプリを起動する。	—
	接続時間の設定を確認する。	6
	スマートフォンが、接続可能な範囲(数m程度)にあるか確認する。	—
時刻情報が取得できない	電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	—
	りゅうずの位置を確認する。	—
	時計の充電量を確認する。	4
	時計がパワーセーブ状態になっていないか確認する。	8
スマートフォンサーチが動かない	専用アプリを起動する。	—
	スマートフォンが、接続可能な範囲(数m程度)にあるか確認する。	—
	電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	—
	専用アプリの[スマートフォンサーチ]の設定を確認する。	7
針の動きがおかしい	スマートフォンが、接続可能な範囲(数m程度)にいない。	—
	スマートフォンをペアリングする。	3
	時計をケースなどから出した途端に針が高速で回りだす	パワーセーブが解除されています。現在の時刻が表示されるまで待ちます。
操作中に、意図しない動きをする	通常表示に戻るまで待ちます。	—
秒針が動かない	通知表示を解除する。	4
秒針が2秒ごとに動く	時計を充電する。	8
	接続状態が表示されない	時計を充電する。
アラーム設定が表示されない	時計を充電する。	8
フライトモード設定が表示されない	時計を充電する。	8
時刻・カレンダーがおかしい		
時刻や日が正しくない	専用アプリの[World Time]画面で、設定を確認する。	5
	スマートフォンの時刻・カレンダーを確認する。	—
	スマートフォンから時刻情報を取得して、時刻・カレンダーを合わせる。	—
	手動で時刻・カレンダーを合わせる。	8
	基準位置を確認・修正する。	9

オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

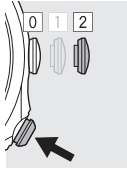
オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

1 基準位置を合わせる

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。9ページの手順4以降をご覧ください。

2 時刻・カレンダー合わせをする

手動(8ページ)または、スマートフォンと接続して時刻・カレンダー合わせをします。



1 りゅうずの位置を②にする

操作音が鳴り、秒針が30秒を指します。

2 ボタンを7秒間以上押し続けて、離す

ボタンから手を離すと、操作音が鳴り、オールリセットが行われます。

オールリセット後の各設定

オールリセット後の各設定	
時刻	午前0時0分0秒
カレンダー	うるう年の1月1日曜日
アラーム設定	△ OFF
アラーム時刻	午前0時0分
ペアリング情報	ペアリング情報は削除されません。
接続状態	※ OFF

Bluetoothについて

ご使用になる前に

国または地域によっては、Bluetoothの使用が法的に許可されていない場合があります。ご利用の前に、以下の弊社サイトで、Bluetoothの使用が許可されている国の一覧をご確認ください。

<http://citizen.jp/support/index.html>

- 使用許可のない国でこの時計を利用すると、法的に罰せられる場合があります。
- Bluetooth通信は、第三者によって故意または偶然に傍受される場合があります。重要な通信や人命にかかわる通信には、この時計を使用しないでください。
- Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

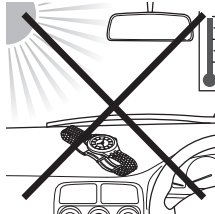
エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけておいてください》

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

△ 注意 充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。
例)
- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電。白熱灯で充電するときは、必ず50 cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されると、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。

△ 警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

△ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでいても時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について

△ 警告 防水性能について

- 時計の文字板もしくは裏蓋の防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)
- WATER RESIST(ANT)xx barはW.R.xx barと表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキューバダイビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	表示	仕様	使用例					
	文字板または裏蓋		水がかか程度の程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキューバダイビング、マリンスポーツに使用。	空気をボンベ使用のスキューバ潜水に使用。	ヘリウムガスを使用する飽和潜水に使用。	濡れたままのりゅうずやボタンの操作。
非防水時計	—	非防水	×	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水	○	×	×	×	×	×
	W. R. 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	W. R. 10 bar	10気圧防水	○	○	○	×	×	×
	W. R. 20 bar	20気圧防水	○	○	○	×	×	×

お取り扱いにあたって

△ 注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま寝ないでください。思わぬけがやぶれを引き起こす恐れがあります。

△ 注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

△ 注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的な交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
- 以下の場合、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。
- バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス、磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

⚠ 注意 携帯時の注意(つづき)

<ショックについて>

・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレンジング・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

・時計のガラス部分や金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

・りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないうまにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回らせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。

・ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてください。

・ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。

汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。

・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。

・金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落とし、金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。

・皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。

・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

・蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。

・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。

・光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまふ場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

弊社の修理用品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご購入・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合は、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<定期点検(有償)について>

・防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2~3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキンなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

<修理について>

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	W410	型式	アナログソーラーパワーウォッチ
時間精度 (非受信時)	平均月差± 15秒 常温(+5℃~+35℃)携帯時		
作動温度範囲	-10℃~+60℃		
表示機能	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻: 時・分・秒 ・カレンダー: 日 		
持続時間	充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで		
	スマートフォンを通常使用するとき		約1年
	スマートフォンと接続し、自動時刻受信とアラーム機能のみを1日1回行うとき		約2年
	スマートフォンを使用しないとき		約2年6か月
	パワーセーブ機能が1日中作動する場合		約4年
	充電警告が始まってから時計が停止するまで		
	約3日		
使用電池	二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個		
付加機能	<ul style="list-style-type: none"> ・光発電機能 ・過充電防止機能 ・充電警告機能(2秒運針) ・パワーセーブ機能(節電機能) ・スマートフォン接続に関する表示機能 		<ul style="list-style-type: none"> ・自動時刻受信機能 ・フライトモード機能(✂ ON/OFF) ・アラームオン/オフ機能(Δ ON/OFF) ・パーペチュアルカレンダー(2100年2月28日まで) ・JIS1種耐磁性能 ・衝撃検知機能

上の表で、「スマートフォンの通常使用」とは、次の場合を想定しています。

接続回数	5日/週
連続接続時間	4時間/1日
自動時刻受信	1回/1日
アラーム	1回/1日
電話着信通知	1回/1日
上記以外の通知	4回/1日

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

お問い合わせ窓口

- ・スマートフォン・携帯電話からご利用いただけます。
- ・いただく情報の中には、お客様の個人情報が含まれる場合がございます。これはお問い合わせへの回答のために利用いたします。また、その目的の範囲内で、弊社の委託する会社において利用する場合がございますことをご了承ください。
- ・サービス向上とお問い合わせ内容の正確を期すため、通話の内容を録音させていただきます。

修理に関するご相談は

シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係

TEL: **0120-977-867**

受付時間 9:30~17:30 (祝日を除く月~金)

〒121-8508 東京都足立区竹の塚5-7-3 竹の塚Joyがらざ4F

その他のご相談は

シチズンお客様時計相談室

TEL: **0120-78-4807**

受付時間 9:30~17:30 (祝日を除く月~金)

弊社ホームページの「サポート」内で、各種情報を配信しております。

URL: <http://citizen.jp/>

